

## SR8000/MPP 128 ノードジョブ運用試行サービス開始について

### システム運用掛

本センターでは 2001 年 10 月より、SR8000/MPP において 128 ノードジョブ試行サービスを開始します。通常運用構成における並列ジョブは最大 16 ノードですが、本試行サービス運用中は 128 ノード(1024 プロセッサ)を利用できるバッチジョブ環境を提供します。SR8000/MPP はノード当たりの理論演算性能が 14.4GFLOPS、主記憶容量が 16GB ですので 128 ノードジョブには性能 1.8TFLOPS、主記憶容量 2TB (ユーザープログラムに対しては約 1.7TB) のリソースを割り当てることができます。試行サービスは基本的に毎月 1 回、第 1 週の金曜日夕刻 (休日の場合は前日) ~ 月曜日早朝 (同翌日) の実施を予定しており、128 ノードジョブ実行環境を以下のように設定します。

#### ジョブクラス P128

バッチキュー名	P128
メモリーの大きさ	13.5GB ( × 128 ノード )
実行時間制限 (ETIME)	1 時間
ジョブの投入方法	#@\$-q parallel #@\$-N 128

#### 利用可能なサービス

インタラクティブ処理用サブシステム mpp-s.cc.u-tokyo.ac.jp  
スカラージョブクラス A~F  
並列ジョブクラス P001~P004、P128

以下はサービス休止 (newuser 手続きも停止) となります。

インタラクティブ処理用サブシステム mpp-p.cc.u-tokyo.ac.jp  
拡張記憶 (ES) 使用ジョブクラス A-ES~F-ES  
並列ジョブクラス P008、P016

P128 キューの利用にあたっては基本負担金コースに 2,000 円コースを設定している利用者を対象 (基本負担金コースは「大型計算機システム届出書」にて変更できます。総合受付 03-5841-2716 までお問い合わせ下さい。)とし、128 ノードジョブ実行に要した CPU 課金は無料とします。ただし、利用状況によっては今後、登録制の導入や実行可能ジョブ数の制限、ジョブリソース公開等を行う場合があります。なお、本試行サービスの内容は変更となる場合がございますので最新の情報はオンラインコマンド show-info あるいは Web ページを御参照頂きますようお願い致します。

また、本サービスの実施に向けてシステム環境整備を行うため、以下の期間は上記 128 ノードジョブ実行環境にて運転致します。(期間の前後 1 時間程度はシステムの再起動を行います。)

9 月 14 日 (金) 18:00 ~ 9 月 25 日 (火) 9:00

ジョブスケジューリングについては未定ですが、並列ジョブクラス P008~P016 についても極力実行可能とする予定です。利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力の程宜しくお願い致します。